

令和6年度 校内研究 中学年分科会提案

令和6年5月29日
杉並区立富士見丘小学校
中学年分科会

1 研究主題について

《 研究主題 》

学びの構造転換「キャリア教育の推進」

～すべての子どもが、なりたい自分になるために～

中学年キャリア教育目標

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ◎自分のよさを のばす | 【自己理解・自己管理能力】 |
| ○相手の気持ちやしょうきょうを考えた行動をする | 【人間関係形成・社会形成能力】 |
| ○かだいにたいして すすんでとりくむ | 【課題に対してすすんで取り組む】 |
| ○みんなのために すすんで役に立つ | 【キャリアプランニング能力】 |

本校の中学年の課題として、相手の気持ちを考えずに自分本位の行動や発言をしてしまう点が挙げられる。そこで、児童一人ひとりが自分のよさに目を向けることで自分を伸ばすための方向性をつかめるようになってほしいと考えた。また、お互いに気持ちよく生活するためにはそれぞれのよさに気づき、肯定的に関わりながら生活し、周りの人へ思いやりをもって行動できる力を身につけてほしいと考えた。自分のよさをベースにして、この先自分がどのような人間になりたいかを追究できる力をつけてほしい。

2 目指す学びと指導の工夫

(1) 主体的な学び (2) 対話的な学び

◎交流の工夫

- ・よさを伝える方法を主体的に選択する

クラスメイトのよさを伝える方法は、すぐに言葉で伝える方法でも、付箋に書いてから言葉で伝える方法でもどちらでもよいとした。それにより、より意欲的・主体的に取り組めると考えた。3年生の実践では、言葉で伝えてもらった児童が、笑顔でワークシートに教えてもらった自分のよさを記録する姿が見られた。また、付箋に書いてから言葉で伝えた児童は、じっくり相手のよさを考える時間ができていた。もらった児童は、付箋がたまるとうれしそうに読み返す姿があり、前向きに自分を見つめることができていた。

そこで、本時では、よさを伝え合う方法を主体的に選択できるようにした。また、より多くの自分のよさに気付かせるために、まずはペアや3人組で伝え合い、その後、クラス全体で自由に交流し、よさを伝え合う時間を設けることにした。

(3) 深い学び

○ワークシートの工夫

- ・自分のよさについて、授業の前段・後段で2度考える

まずは自分のよさを授業の初めに自分自身で考える。その上で、クラスメイトとお互いのよさを伝え合う活動を行う。活動を通して、他人から見た自分のよさに気付いた後に、改めて自分のよさについて考える。自分のよさを2度考える時間を設けるため、ワークシートの形式を、自己の考えの変容が分かりやすいような物とした。形式を工夫することで、「自分で感じていた自分のよさ」と「他人から見た自分のよさ」の相違点に自然と着目し、より深く自分について見つめることができると考えた。3年生の実践では、自分の感じているよさと他人から見た自分のよさの違いに驚く児童もいたが、もらった言葉から、自分をより広く見つめることができるようになった児童の姿も見ることができた。ワークシートを工夫することが、より深い学びに繋がると考え、変容が見とれる形式とした。

3 分科会として見ていただきたい視点（本時の学習）

視点1 主体的な学び、対話的な学びのために、相手のよさを伝える方法は、言葉で伝えても付箋に書いてから伝えてもよいという手立てが有効であったか。

視点2 友だちから自分のよさを伝えてもらう活動は、自分のよさについて理解を深めるために有効であったか。

※ 以上の視点をもとに、グループ協議をお願いいたします。

第4学年 道徳科学習指導案

日時：令和6年5月29日（水）

第5校時（13：20～14：05）

場所：杉並区立富士見丘小学校

児童：第4学年〇組〇〇名

授業者：〇〇 〇〇

1 主題名 自分のよさ A「個性の伸長」（主として自分自身に関すること）

教材名 「うめのき村の四人兄弟」（出典 東京書籍「新編 あたらしいどうとく」）

2 単元の目標と評価規準

- ・自分の特徴に気付き、長所を伸ばそうとする心情を育てる。

3 教材について

うめのき村の4人の兄弟が、それぞれの特徴や能力を発揮して協力することによって、嵐から村を守り、その結果、4人それぞれの活躍ぶりについて、おとうから大いに褒めてもらえたという話である。本教材を通し、一人ひとりの特徴について多面的に捉えることで、改めて自分の長所に気付き、さらに長所を伸ばしていこうとする心情を育てたい。また、その長所を価値付け、認め合うことで、児童一人ひとりの自己肯定感や自尊感情を高めたいと考え、本単元を設定した。

中学年では、ある程度、自分のことを客観的に見るができるようになる。だからこそ、他者との違いの元にある「自分の長所や短所」を特徴として意識できるようになる。そこで本教材を通し、人間は誰でも長所と短所の両面を持ち合わせているということを伝えた上で、得意なことや好きなこと等の自己のよさ・自分らしさを積極的に伸ばし、実現したいという前向きな思いをもたせていきたい。

4 単元の目標にせまるための手立て

（1）主体的な学び （2）対話的な学び

◎交流の工夫

- ・よさを伝える方法を主体的に選択する

クラスメイトのよさを伝える方法は、すぐに言葉で伝える方法でも、付箋に書いてから言葉で伝える方法でもどちらでもよいとした。それにより、より意欲的・主体的に取り組めると考えた。3年生の実践では、言葉で伝えてもらった児童が、笑顔でワークシートに教えてもらった自分のよさを記録する姿が見られた。また、付箋に書いてから言葉で伝えた児童は、じっくり相手のよさを考える時間ができていた。もらった児童は、付箋がたまるとうれしそうに読み返す姿があり、前向きに自分を見つめることができていた。そこで、本時では、よさを伝え合う方法を主体的に選択できるようにした。また、より多くの自分のよさに気付かせるために、まずはペアや3人組で伝え合い、その後、クラス全体で自由に交流し、よさを伝え合う時間を設けることにした。

（3）深い学び

○ワークシートの工夫

- ・自分のよさについて、授業の前段・後段で2度考える

まずは自分のよさを授業の初めに自分自身で考える。その上で、クラスメイトとお互いのよさを伝え合う活動を行う。活動を通して、他人から見た自分のよさに気付いた後に、改めて自分のよさについて考える。自分のよさを2度考える時間を設けるため、ワークシートの形式を、自己の考えの変容が分かりやすいような物とした。形式を工夫することで、「自分で感じていた自分のよさ」と「他人から見た自分のよさ」の相違点に自然と着目し、より深く自分について見つめることができると考えた。3年生の実践では、自分の感じているよさと他人から見た自分のよさの違いに驚く児童もいたが、もらった言葉から、自分をより広く見つめることができるようになった児童の姿も見ることができた。ワークシートを工夫することが、より深い学びに繋がると考え、変容が見とれる形式とした。

5 本単元とキャリア教育のつながり

<p>【中学年のキャリア教育目標】</p> <p>○自己理解・自己管理能力・・・「自分のよさを伸ばす」</p> <p>○課題解決能力・・・「課題に対してすすんで取り組む」</p> <p>○人間関係形成・社会形成能力・・・「相手の気持ちや状況を考えた行動をする」</p> <p>○キャリアプランニング能力・・・「みんなのためにすすんで役に立つ」</p>

中学年として定めたキャリア目標は上記の4点である。本時では特に、○自己理解・自己管理能力に重点を置き取り組むことにした。

○自己理解・自己管理能力・・・「自分のよさを伸ばす。」(本時)

お互いの良いところを伝え合う活動を通して自分のよさについて再認識させる。

その後、今まで、自分が思っていた自分のよさと、自分以外の人が見て感じている自分のよさの違いを知った上で、改めて自分のよさを考えることで、より深く自分を見つめることができ、新しい観点から自分のよさについて認識し、伸ばしていこうとする意識を高められると考えた。

7 本時の学習

(1) 本時の目標 自分の特徴に気づき、長所を伸ばそうとする心情を育てる。

(2) 本時の展開

時間	主な学習活動○発問・予想される児童の反応	◎指導上の留意点☆評価規準
導入 5分	<p>1 自分のよさについて考える。</p> <p>○事前に行ったアンケート結果を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思い浮かぶ。 ・思い浮かばない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">自分のよさについて考えよう。</div> <p>○ワークシートに自分のよさを記入する。</p>	<p>◎自分のよさが思い浮かぶ子と思い浮かばない子の人数を伝え、「自分のよさが思い浮かばない子たちも自分のよさに気付けるようにしよう」と声をかけることでねらいとする価値への導入を図る。</p> <p>◎児童に安心感をもたせるために、思い浮かばない場合は、「思い浮かばない」と書いても良いことを伝える。</p>
展開① 7分	<p>2 教材文「うめのき村の四人兄弟」を読み、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人の特徴を確認し、それぞれの思いを考える。 *いちろうたは、力持ちだから、土のうを積み上げた。 *じろうたは、家が壊れないように、板を打ち付けた。 *さぶろうたは、動物と仲良しだから、動物たちがあわてないように、世話をした。 *しろうたは、自分にできることをやろうと一生懸命に行動した。 	<p>◎国語科の読解にならないよう、場面絵を活用し、まとめて確認を行う。</p> <p>◎それぞれが長所を生かし、役割を果たそうとしたことをおさえることで、ねらいとする価値につなげる。</p> <p>◎四人兄弟が、自分のよさを生かして、行動したことと関連付け、互いのよさを見付けることの大切さを伝える。</p>
展開②	<p>3 友達とよさを伝え合う。</p>	<p>◎ペアでカードに書き合っても、言葉で伝え</p>

<p>30分</p>	<p>○友達のよさを直接伝え合う。(ペア→自由に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも一生懸命勉強している所が素敵です。 ・いつも優しく声をかけてくれる所が素敵です。 ・いつも笑顔で明るい所が素敵です。 <p>4 伝えてもらったことを元に、改めて自分のよさについて考える。</p> <p>○ 今日の学習を通して、もう一度自分のよさについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分では気付かなかったけれど、思いやりがあるところが自分のよさだと気付きました。 ・いつも笑顔でいるところが自分のよさなんだと知りました。 	<p>合っても良いことを伝え、主体的に活動できるようにする。</p> <p>◎なかなか伝え合えない場合には、具体的なエピソードをあげ、会話を促す。</p> <p>◎カードに書いた際は、声をあげて直接読み上げるように伝え、ペアでの活動のあと、より多くの友達と伝え合う活動を行うよう声を掛ける。</p> <p>◎児童同士でよさを伝え合っている時に、教師からも一人ひとりによさ書いた付箋をワークシートに貼っていく。</p> <p>☆友達と伝え合うことで、自分の特徴やよさに気づき、長所を伸ばそうと考えている。 (記述)</p> <p>※自己理解・自己管理能力(キャリア教育目標)</p>
<p>終末 3分</p>	<p>5 教師の説話を聞く。</p>	<p>◎「私と小鳥と鈴と」の詩を読み味わうことで、「みんなちがってみんないい」という思いをさらにもたせる。</p>

(3) 板書計画

うめのき村の四人兄弟

自分の良さを考えよう

やさしい
動物となかよし

じろうた
しろうた

いちろうた
さぶろうた

ちからもち
進んでやる

ていねい
きよう

天気のように
あわてない